

ICTを活用した見える化による地域活性化とバスサービスの維持確保

(イーグルバス株式会社【埼玉県川越市】)

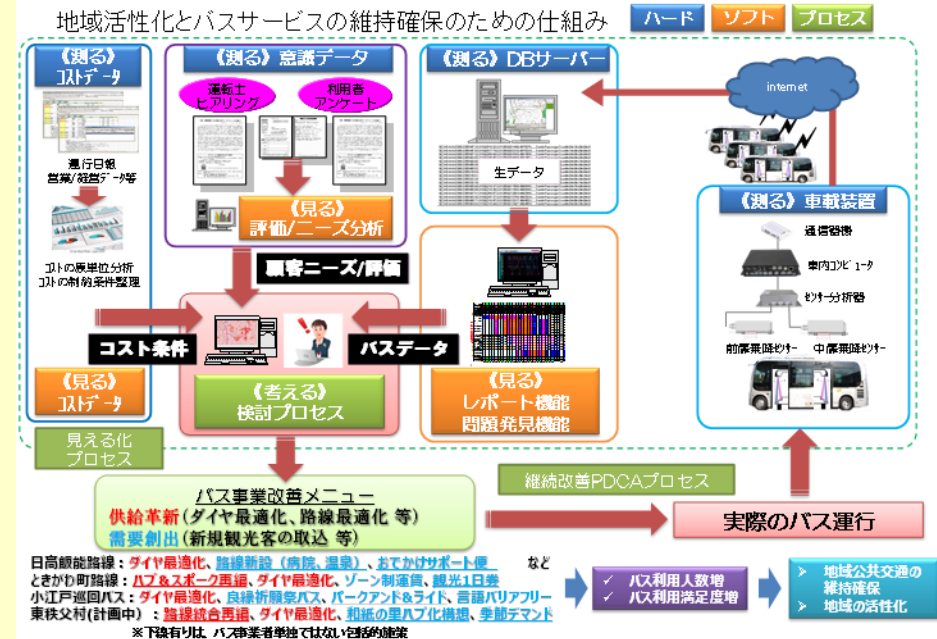
ICTを活用した見える化による地域活性化とバスサービスの維持確保

(見える化による供給革新と需要創出)

「地域情報化大賞
2015」
奨励賞受賞

少子高齢化の今、運輸事業だけで地域の足の確保は不可能。包括的施策、地域づくりの一つとしてのバス事業を考える必要がある
バス事業は「見えない」。バス運行データ(利用者があるか・いないか? 遅延状況は?), 顧客ニーズ、コスト条件などを、ICT支援によって「見える化」する仕組み(ハード、ソフト、プロセス)を構築

ICTにより「見える化」することで、包括的施策を含めた様々な「供給革新」と「需要創出」を立案・実施し、事業改善と地域活性化を実現



供給革新と需要創出により地域公共交通の維持確保と地域活性化を支援

【施策の定量的な効果】

- バス利用人数(2007年と2014年比較)
日高飯能路線 123%(4,507人/月増加)、ときがわ町路線 159%(5,305人/月増加)
- バス利用者の満足度(2006年と2014年比較)
日高飯能路線 良い・やや良いと回答した率 49%から86%へ(37ポイント増加)